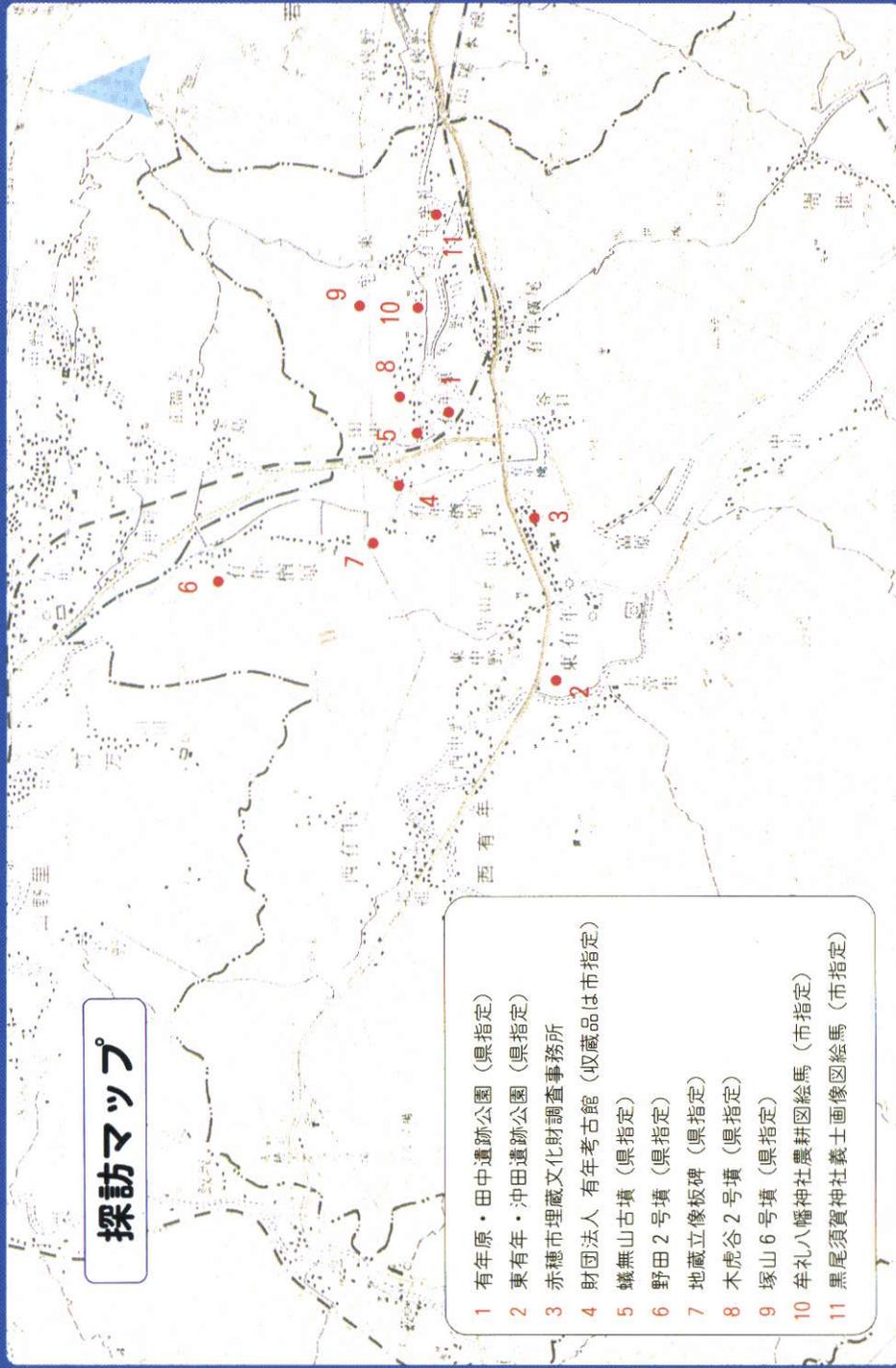


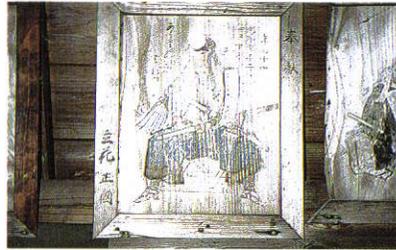
探訪マップ



- 1 有年・田中遺跡公園 (県指定)
- 2 東有年・沖田遺跡公園 (県指定)
- 3 赤穂市埋蔵文化財調査事務所
- 4 財団法人 有年考古館 (収蔵品は市指定)
- 5 蟻無山古墳 (県指定)
- 6 野田2号墳 (県指定)
- 7 地藏立像板碑 (県指定)
- 8 木虎谷2号墳 (県指定)
- 9 塚山6号墳 (県指定)
- 10 羊礼八幡神社農耕図絵馬 (市指定)
- 11 黒尾須賀神社義士画像図絵馬 (市指定)



有年地区の文化財施設と 指定文化財



赤穂市教育委員会

赤穂市加里屋81番地

TEL 07914-3-6858

有年原・田中遺跡公園

〒678-11 赤穂市有年原1090番地

☎07914-9-3722

開園時間 午前10時～午後4時

休園日 火曜日（ただし祝日と重なった場合はその翌日）

12月28日～1月4日

入園無料



▲出土した壺・器台

有年原・田中遺跡公園は、昭和63年度に実施されたほ場整備事業に伴う発掘調査で発見された弥生時代後期(約1,800年前)の大型墳丘墓や木棺墓群などを復元整備した遺跡公園です。大型墳丘墓は、弥生時代からやがて訪れる古墳時代にむけての、当時の社会の移り変わりを考えるうえで貴重なものです。また、複雑な文様が描かれた大型の壺、器台、高杯も出土しており、遺跡の価値は高く評価され、公園の地下に眠る遺跡は平成2年(1990)3月に兵庫県指定文化財に指定されています。復元された墳丘に立って、弥生人の祈りの世界に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



▲木棺墓群

◀1号墳丘墓

■塚山6号墳 平成2年(1990)3月指定

一辺15~16mの方墳で墳丘の裾には列石が見られます。全長11m以上を測る横穴式石室には、玄室中央に左右から突出した間仕切りがあり、玄室を二分する特異な構造が大きな特徴です。出土した須恵器などから、6世紀末頃の築造と推定されます。

■有年原・田中遺跡 平成2年(1990)3月指定

弥生時代から室町時代にかけての遺跡で、弥生時代後期の大型墳丘墓とその周溝から出土した大型で装飾豊かな壺・器台・高杯が注目されます。平成7年(1995)4月に遺跡公園として墳丘墓・木棺墓群・祭祀土坑などを復元し、遺跡公園として幅広く利用されています。

■東有年・沖田遺跡 平成4年(1992)3月指定

縄文時代から室町時代にかけての大規模な集落遺跡で、とりわけ弥生時代及び古墳時代にかけての多数の竪穴住居が見つかりました。平成8年(1996)4月に遺跡公園として弥生時代後期と古墳時代後期の住居を復元し公開しています。

赤穂市指定文化財

■有年考古館収蔵考古資料 昭和63年(1988)3月指定

松岡秀夫博士によって収集された考古資料のうち、貴重な旧赤穂郡内の考古資料1,250点が赤穂市指定文化財に指定されています。

■牟礼八幡神社農耕図絵馬 平成7年(1995)5月指定

農作業絵8、祭礼絵1から構成され、農具とその用法がよく描写されています。明治10年代に奉納されたものですが、江戸初期の農耕の様子がしのばれる貴重な民俗文化財です。



■播州箕・竹籠類編方技法 平成7年(1995)5月認定

谷本拙三氏は細工歴65年、竹箕の製作を得意とし、素材竹の見分け方や割竹を薄く割り、ヒゴを作る引き割り技法など多数の高度な技術を身につけられており、選定保存技術保持者に認定されています。

■黒尾須賀神社義士画像図絵馬 平成8年(1996)3月指定

義士絵馬49面と奉納額合わせて50面あり、絵師は京狩野派の菅原永得です。旧赤穂郡内には24の神社に義士絵馬がありますが、この絵馬は嘉永2年(1849)に奉納されたもので、義士絵馬としては最も古い例です。

兵庫県指定文化財

■ 蟻無山古墳 昭和50年(1975)3月指定

標高70.4mの山頂にあり、直径約50m、高さ約7mの円墳で、南側に造り出しをもっています。発掘調査は行われていませんが、墳丘斜面には河原石が葺かれ、円筒埴輪のほか、馬・蓋・盾などの形象埴輪が立てられていたことが分かっています。築造の年代は5世紀前半から中頃と推定されます。

■ 野田2号墳 昭和61年(1986)3月指定

別名「祇園塚」とも呼ばれますが、現在墳丘の盛土は大半が失われ、本来の形や大きさは分かりません。横穴式石室は玄室入り口に玄門とそれを塞ぐ大きな板石があり、さらに羨道途中にも板石が立てられ羨道を仕切っています。出土遺物から6世紀の終わり頃の築造と思われる。



■ 地藏立像板碑 昭和62年(1987)3月指定

「はえぬき地藏」とも呼ばれ、花崗岩の巨石に地藏像を彫りだしています。延文3年(1358)の銘があり、赤穂市内では唯一建立年代の明らかな石仏です。



■ 木虎谷2号墳 平成2年(1990)3月指定

直径約16mの円墳と推定され、全長9.5mの大形の横穴式石室をもっています。石室の奥壁には石棚があり、もとはこの棚の下にも同じような板石があったというから、棚というよりは板石を組み合わせた石棺のような施設があったものと思われる。



東有年・沖田遺跡公園

〒678-11 赤穂市東有年1936番地

☎07914-9-3993

開園時間 午前10時～午後4時

休園日 火曜日(ただし祝日と重なった場合はその翌日)

12月28日～1月4日

入園無料

東有年・沖田遺跡は、ほ場整備にもなって調査され、縄文時代後期(約3,500年前)から室町時代(約600年前)にかけてのたくさんの遺構や遺物が見つかっています。特に弥生時代後期(約1,800年前)の大形竪穴住居や、密集して見つかった古墳時代後期(約1,400～1,450年前)の竪穴住居とそこから出土したさまざまな遺物は、当時のムラの成り立ちや生活の様子を考えるうえで重要な遺跡であること

ことから、平成4年(1992)3月に兵庫県指定文化財に指定されています。公園は「弥生時代ムラ」と「古墳時代ムラ」の二つのゾーンに別れ、それぞれ発掘された遺構をもとに竪穴住居や高床倉庫を復元し、当時のムラの様子を再現しています。



▲ 弥生時代後期の竪穴住居



▲ 古墳時代後期の竪穴住居



赤穂市埋蔵文化財調査事務所

〒678-11 赤穂市東有年68番地

☎07914-9-3691

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 土・日曜、祝日、

12月28日～1月4日

このほか不定期に休館する

場合があります

入館無料



赤穂市教育委員会が実施した発掘調査によって出土した遺物の保管・復元・調査研究を行い、事務所のフロアーでは主な出土遺物を展示公開しています。

出土遺物の中には各種土器のほか、土製品・石器・木製品・鉄製品・装飾品

などがあり、こうした他では見られない貴重な遺物や、遺跡公園となっている有年原・田中遺跡、東有年・沖田遺跡から出土した遺物が展示されています。



◀復元中の土器

▼展示フロアー



財団法人 有年考古館

〒678-11 赤穂市有年檜原1164番地の2

*入館には事前に連絡が必要です

連絡先：〒670 姫路市八代本町1丁目11番20号

館長 松岡秀樹

☎0792-88-3758

入館無料

有年考古館は松岡秀夫医学博士により設立され、博士が旧赤穂郡内を中心に収集した考古資料を展示公開しています。考古資料のほか、周辺の民俗資料などもひろく収集し、地域博物館としても特筆すべき考古館です。博士は「日本一小さな考古館」と自称されていますが、その収集資料の価値は高く、旧赤穂郡関連の遺物1,250点は、昭和63年(1988)3月に赤穂市指定文化財となっています。



◀有年考古館外観

玄関は明治33年(1900)に建てられた旧有年村役場から移築したものです



◀ところ狭しとならべられた展示資料